

大自然の凱歌 (1936)

COME AND GET IT

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 99分
初公開日 1938/05
公開情報 劇場公開

【解説】

E・ファーバー原作の大作ロマンで、ノース・ウィスコンシンの大森林で伐採業で名を成した男が、愛する女を捨て、己の野心に忠実に製紙業者の婿となって成功するが、やがて彼女が親友と結婚して産んだ娘を愛するようになるーというお話。演出を、ホークスが途中降板してワイラーと替わったことで知られる作品だが、両者の個性の違いが如実に分かって面白い。圧巻なのは前段の、氷結した川に発破をかけ木を流すロケ撮影と、ヒロインの酒場の歌手ロッタが主人公バーニイ（E・アーノルド）を騙そうと近づいて遂にその侠気にほだされ、酒場の主を裏切り、彼と親友スワン（ブレナン）に混じって大立ち回りを演じる部分。これはもうホークスの力業だとはっきり知れる。が、以降、主人公が成功を収めて、久しぶりに古巣に帰り、美しく成長したスワンと今は亡きロッタの愛娘エビーに出会って老いらくの恋に溺れる展開は、ワイラーらしい都会の上流生活の点描に見どころがないわけではないが、俄然調子が落ちる。一人二役のファーマーも、あだっぼい酒場女のロッタ役は大変魅力的だが、エビー役となると色気が強すぎて、清純な娘がつい大人をからかってしまうというニュアンスが出ず、まるで毒婦に見える（伝記映画「女優フランシス」でジェシカ・ラングが彼女を演じたが、確かにタイプの的にそっくり）。

【クレジット】

| | | |
|----|---------------|----------------|
| 監督 | ウィリアム・ワイラー | William Wyler |
| | ハワード・ホークス | Howard Hawks |
| 製作 | サミュエル・ゴールドウィン | Samuel Goldwyn |
| 原作 | エドナ・ファーバー | Edna Ferber |
| 脚本 | ジュールス・ファースマン | Jules Furthman |
| | ジェーン・マーフィン | Jane Murfin |
| 撮影 | グレッグ・トーランド | Gregg Toland |
| | ルドルフ・マテ | Rudolph Mate |
| 音楽 | アルフレッド・ニューマン | Alfred Newman |
| 出演 | エドワード・アーノルド | Edward Arnold |
| | ウォルター・ブレナン | Walter Brennan |
| | ジョエル・マクリー | Joel McCrea |
| | フランシス・ファーマー | Frances Farmer |
| | アンドレア・リーズ | Andrea Leeds |
| | フランク・シールズ | Frank Shields |